

氏名 (ふりがな)	清水池 義治 (しみずいけ よしはる)
所属・職位	保健福祉学部教養教育部・講師
最終学歴	北海道大学大学院農学院共生基盤学専攻博士後期課程修了
学位	博士 (農学)
免許・資格	なし
連絡先	TEL:01654-2-4194 (3304) FAX: 01654-3-3354 E-mail: shimizuike@nayoro.ac.jpg (メールを送る際には.jpg を.jp に変更して下さい) URL:なし 研究室所在地: 本館3階

専門分野	農業経済学、農業市場学、地域ブランド論
主な担当科目	教養教育: 経済学、現代経済論、北海道の農と食、基礎演習 I、基礎演習 II 栄養学科: 食料経済学
主な研究テーマ	1. 地域ブランド・アイデンティティの創造・伝達方法の国際比較 2. 生乳需給の変化が酪農・乳業の産業間関係に及ぼす影響
研究キーワード	地域ブランド、フランス地域自然公園制度 (PNR)、生乳需給
主な著書・論文 (最近5年間)	1. 清水池義治. 生乳流通と乳業—原料乳市場構造の変化メカニズム—. 酪総研選書 No.90. デーリィマン社. 2010. 2. 清水池義治. 生乳生産者団体の原料乳分配方法による原料乳市場構造の変化—北海道指定生乳生産者団体ホクレンの『優先用途』販売方式に着目して—. 農業市場研究. 2009:70:11-20. 3. 清水池義治. 国際乳製品市場の動向と日本への影響. 出村克彦・中谷朋昭. 日豪 FTA 交渉と北海道酪農への影響. 酪総研選書 No.88. デーリィマン社. 2009:33-59. 4. 清水池義治・並木健二. 大手乳業資本のチーズ増産要因に関する一考察. 2007 年度日本農業経済学会論文集. 2007:210-217. 5. 清水池義治. 北海道における大手乳業資本の生産設備投資・運用に関する考察—「資本蓄積構造」の視点から—. 農業市場研究. 2007:65:1-9.
外部獲得資金 (最近5年間)	1. 平成 23-24 年度科学研究費補助金, 若手 B (文部科学省), 農産物における地域ブランド・アイデンティティの創造および伝達方法の国際比較, 研究代表者
学会活動	1. 日本農業経済学会正会員 (2004 年～現在) 2. 日本農業市場学会正会員 (2004 年～現在) 3. 日本フードシステム学会正会員 (2004 年～現在)
社会貢献	<委員会など> 名寄市総合計画策定審議会産業経済部会委員 (2011 年～) 名寄市農業・農村振興計画検討委員会委員 (2011 年～) 名寄市公設地方卸売市場運営委員会委員 (2010 年～) 北海道地域・自治体問題研究所理事 (2009 年～) <講演など> 地域と農業—新たな地域づくりに向けて—, 平成 22 年度名寄市農業担い手交流会 (2010 年 7 月, 名寄市)
受賞	なし

コメント	これからの時代は従来とは異なった視点からの地域経済振興・再構築が求められています。フランス地域自然公園制度 (PNR) や地域ブランドをキーワードに、道北の地域資源を活用した持続的・自律的な地域経済のありようを考察していきます。 講義「北海道の農と食」では地元農家への農作業体験実習を実施しています。2010 年度は約 60 名の学生が実習に参加し、地域への理解を深めました。
------	---